

国際農村社会学会議第八回大会についてのお知らせ

国際交流委員会

12月現在で、この大会に出席を考えて連絡を頂いた方の数は36人になっていきます。国際学会に引き続き、アメリカ農村社会学会とアメリカ社会学会が開催されます。国際学会とアメリカ農村社会学会に関して、詳細をお知りになりたい方は高橋明善までご連絡ください（連絡先を後掲）。

早くご連絡頂いた方については、アメリカに名簿を連絡しましたので、ご本人に直接事務連絡が行くことになっていきます。連絡の遅れた方は高橋から必要事項を個人連絡します。もし、手違いで、連絡のいっていない方はご連絡ください。

一般申し込み締切りは3月1日です。

*連絡のあった方には現在手元にある次の資料・書類を送ります。

- 1、国際会議への Invitation letter
- 2、Brochure（ふたつの会議の日程、宿泊参加費、交通、ツアーなどについて記載）
- 3、参加と報告の申し込み用紙と申し込み法形式（報告申し込みの締切りは3月1日です）
- 4、アジアの連絡組織についての経過
- 5、参加予定者名簿

* 参加費用

「Registration fee」

Regular (by 15 July 1992) On-site or late (after 15 July)

国際大会のみ参加		
一般	\$ 180	\$ 210
学生	100	120
同伴	100	120

国際大会とアメリカ農村社会学会に参加

「ツアー」	\$ 235	285
「宿泊費」		
シングル 一泊	\$ 18	
ダブル 一泊一人	\$ 12・5	
「ツアール」	\$ 20 (大会登録者は無料)	
ピクニック	\$ 20	

* 今後の連絡

- 1、名簿記載のかたや、参加申し込みをされた方へは事務局から直接連絡が行くと思います。
- 2、その他の方には事務局から連絡があり次第、高橋から逐次行きます。一般会員にはニュースで知らせます。
- 3、参加申し込みが終われば大会本部から各人に連絡がいきます。会議の共通テーマと日程は次のようになっていきます。

国際農村社会学会 : Rural Society in the Changing World Order

日程 1992年8月11-16日 (Penn State 大学)

アメリカ農村社会学会 : Rurality and the Global Environment

日程 1992年8月16-19日 (同上)
* 村落社会研究会は学会として次のテーマで日本人3人、4人と、アメリカ人2人 (C. Bailey氏外1名) による課題報告を行うと申し込みました。

Land Reform and the Sustainability of Small Farming in Agricultural Modernization - Japanese Experiences -
日本からは細谷昂、皆川勇一、磯辺俊彦会員が報告をされます。
河村能夫会員も報告されるかもしれません。

* アジアの連絡網の組織化について
大会時の正式プログラムにアジアの研究者の集りの開催が計画されています。

アジア研究者の組織化について村落社会研究会橋川村大会に、ソウル大学の王仁權教授が出席され、打ち合せが行われました。概要次のような方針で望みたいと思います。

- 1、組織名 Asian Network for Rural Studies and Rural Sociology (ANRSS)
- 2、当面、年1-2回のニュースを発行して連絡コミュニケーションの輪を広げることの主要任務とする。
- 3、各国の賛同者名簿をつくり、各国から連絡責任者をだす。
- 4、連絡センターを設ける。
- 5、各国内の連絡は、連絡責任者が責任をもっておこなう。

6、センターへの会員と連絡責任者の連絡事項の処理は会議を
開けないので、センターに一任する。
アジア各国で連絡責任者となって頂ける方を紹介して頂きたい
と思います。

*
連絡先

高橋明善 一八三 東京都府中市幸町三一五―八東京農工大学
一般教育部